

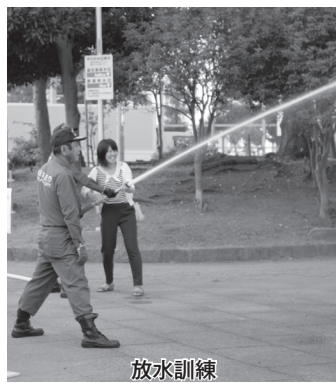
東京聖栄大学 後援会会報

編集発行
東京聖栄大学
後援会

◆ 本学の防災に関する取り組み ◆

本学では、地震・火災等の発生を想定し、学生自身の防災行動力と意識向上を図る観点から、様々な防災に関する取り組みを年間通して行っています。五月には、災害時安否確認システムの運用訓練を実施し、災害発生時における本学と学生との緊急連絡体制の確認を行っています。

十月には、地元東京消防庁本田消防署や葛飾区防災課等の協力のもと放水訓練や起震車体験等、「体験型」の訓練を実施しています。その他に、学生達が学内にある保存食・防災資機材の保管場所や使用方法を学ぶ訓練等を実施しており、これらの安全に対する具体的な取り組みは、文部科学省指定機関によ



放水訓練



AED使用訓練等



起震車体験

る第三者評価で本学の優れた点として評価をいただきました。

会長挨拶

後援会会長 野田 哲三



花便りの嬉しい季節となりました。後援会の皆様におかれましては益々ご健勝の事とお慶び申し上げます。日頃から後援会へのご理解、

ご協力を頂き厚く御礼申し上げます。この度、めでたく卒業を迎えられる管理栄養学科・食品学科の皆様、そしてご子弟を支え続けてこられた保護者の皆様に心からお祝い申し上げます。卒業生の皆様はこれから社会人としての一步を踏み出されます。組織の一員としての立場、権限が与えられ、それに伴い義務と責任を負うこととなります。プレッシャーを感じておられるのも当然だと思えます。

でも今まで培ってこられた学びへの姿勢のほかに時間を守る、相手を尊重する、身だしなみでは清潔感を保つといった社会ルールをきちんとさえすれば恐れるに足りません。今の真摯な気持ちをお忘れずに精一杯ぶつかっていつてもらいたいと思います。皆様のご活躍を心から祈り申し上げます。最後に、日々学生に対して熱心にご指導頂いている教職員および関係者の皆様に深く感謝申し上げます。私共の挨拶とさせていただきます。

令和元年度 保護者会報告について

保護者会(後援会・大学共催)が令和元年十月十九日(土)、六十一名の保護者参加のもと開催されました。

全体会では、野田哲三後援会長、荒木裕子学部長の挨拶ののち「学科の現状と課題(報告)」と題して、夫々の学科報告が行われました。

続いてクラス担任を中心に学科、学年別懇談会が実施され、大学での学生生活や就職活動、国家試験対策、家庭での様子などが話し合われ、担任と保護者での情報共有がなされるなど、有意義な場となりました。

その後、多目的ホールにて、教科担当者や研究室指導教員などを交えた情報交換会(希望者のみ)が、終始和やかな雰囲気で行われました。



保護者会 全体会

保護者会に参加して

1 NB 高島 眞一

子供の頃から管理栄養士を目指していた娘にとって、東京聖栄大学に入学が叶ったことは、自分の夢の実現に向けて着実に人生の舵を取っているようであり、嬉しく見守っています。

さて、当初十月十二日に開催の予定でしたが、千曲川や多摩川の氾濫をはじめとした甚大な被害をもたらした台風十九号の影響で急遽延期が決定されました。最初に講堂で全体会が開催され、大学側から各学科の現状と課題の報告があり、卒業生の就職活動の状況や就職先の傾向、学年ごとに異なる学生の特徴や生活態度等のお話を伺いました。その後行われた学科別の懇談会では担任教授に副担当、実験助手の方もご出席され、GPAの説明や学習支援の概要等の成績全般の話を通じて、「学生の質の保証」を担保する取組みの説明に感銘を受けました。また、個別面談まで用意されていて、個別に娘個人の学業における課題を提示頂きました。娘が通った中学校や高校以上に手厚い指導を受け、本当に良い大学に通わされていることに感謝しています。

健康栄養学部

健康栄養学部の取り組みについて
健康栄養学部長 荒木 裕子



本学健康栄養学部両学科の学生一七〇名が社会に巣立っています。卒業生がそれぞれの分野で、本学で培った力を遺憾なく発揮し、社会に貢献できることを願っています。保護者の皆様には心からお祝い申し上げます。卒業生とともに、社会に巣立っていく卒業生にはエールを送りたいと思います。

さて、本学では保護者の皆様へのニーズをきちんと把握したきめ細やかな教育体制を整え、後援会のご協力のもと、保護者会を毎年開催しております。「子供がきちんと勉強しているか、就職はどうなるのだろうか」など保護者の皆様はさまざまな不安をお持ちかと思えます。本学では、クラス担任が主体となり保護者の皆様の気持ちに寄り添えるような情報発信や活動に努めています。十月に開催される保護者会には是非ご参加ください。大学の学びについて知っていただき、教職員との交流を深めていただきたいと思います。

学部全体の教育体制では、FD活動として個々の教員がおこなっている授業内容・方法の改善をはじめ、教員と職員が協働しながら、より豊かな質の高い教育の実現を目指しています。研究活動では、科研費研究や学内における研究活動も充実を増しており、葛飾区、埴町との地域連携の研究活動も大きな成果を収めています。これらの研究活動を学生に還元し、共に学びあう教育環境の充実を推進していきたいと思えます。また、次年度からカリキュラムを一部改正し、社会の要請に応える教育の向上に努めてまいります。後援会の皆様には、今後ともご支援いただきますようお願い申し上げます。

食品学科

食品学科の来る一年

食品学科長 北村 義明



卒業生の保護者の皆様、ご息女のご卒業誠におめでとうございます。そして学生諸君の学生生活を四年間支えてくださったことに、我々教員からも改めて御礼申し上げます。在学生の保護者の皆様には、

食品学科生諸君の来るべき一年間の学生生活を紹介させていただきます。新四年次生は、いよいよ就職活動も本番となりますが、それと並行して卒業に向けてフードサイエンスコースの学生は全員が卒業研究に、フードビジネスコースの選択履修者は卒業制作に取り組む一年となります。四年間の食品の学びの集大成として、全力で取り組んでくれるよう期待するとともに、我々教員も全力でサポートする所存です。新三年次生は、より専門的な講義や実験・実習が多くなり、食品を学ぶ楽しさが実感できると思えます。また、全員がゼミに所属することになり、四年生の様々な活動を身近に感じて就職活動への自覚が高まることと思えます。授業としてのインターンシップもありますが、各自興味ある企業のインターンシップにも自ら積極的に直接アプローチするようご助言ください。新二年次生は、食品の専門的な授業が増えてくるとともに、夏にフィールド研修が予定されております。教室だけでは体験できない実社会の活動を身をもって体験していただきたいと思えます。

卒業生の保護者の皆様、ご息女のご卒業おめでとうございます。新しい令和二年がスタートしました。今年度は東京でのオリピック開催ですのでスポーツの年となると思えます。管理栄養学科にはオリピックに出場した教員もおります。また、惜しくも東京オリンピックには出場できませんでしたがオリピックを目指し頑張っている学生もおります。(世界選手権で優勝を目指したいといっております。これからますますスポーツと栄養、スポーツと食品などには関心が高まると思えます。次年度新しく「スポーツ栄養」という科目が新設されます。しかしスポーツと栄養であつても、食品の基礎、細胞の働き、人体の作りなど、人の心を考える学問には変わりありません。しっかりと基礎を学び栄養管理がスポーツを牽引する時代が来ることを期待したいと思います。管理栄養学科では新四年次生は学生生活の締めくくりとなる管

管理栄養学科

管理栄養学科の現状
管理栄養学科長 宮内 眞弓



理栄養士国家試験に向けて準備が始まります。四年間の学びが繋がっていく一年になることでしょう。また、就職活動も本格化し大変な一年と思えます。体調管理と日ごろの力を一〇〇%発揮できるよう精神面のサポートを家庭ではお願いしたいと思います。新三年次生は事業所での臨地実習では栄養管理や経営管理を学び、病院・介護施設への臨地実習で傷病者の栄養管理を学ぶこととなります。また、就職活動も始まり多忙な一年となると思えます。新二年次生は管理栄養士としての専門的な科目が増えて参ります。しっかりと授業についていけるよう頑張ってください。新一年次生はまずは大学に慣れ、新しい仲間をたくさん作っていただきたいです。大学での四年間は、友達との時間、自分自身を見つめ直す時間など「成長する」時間であつてほしいと思えます。興味あることにいろいろチャレンジし、自分の可能性を広げていただきたいと思えます。「食」を通して社会に貢献できる管理栄養士を育てたいと思えます。



かつしか健康食育フェア協力

学友会活動報告

●「わんぱく相撲大会」の協力活動

令和元年五月十九日(日)わんぱく相撲葛飾区大会、令和元年八月二十四日(土)、二十五日(日)わんぱく相撲女子全国大会に協力いたしました。わんぱく相撲大会は小学四年生から六年生が参加し、日本国内二〇〇地区(主催:日本青年会議所)の予選から勝ち上がり、決勝は両国国技館で全国の小学生力士「Z〇」を決める大会です。今年初めて女性力士だけの、「第一回女子全国大会」が東京都葛飾区にて開催され、会場の設営準備や誘導案内の協力を行いました。また、毎年葛飾区大会では、総合司会や模擬店による協力も行っています。



わんぱく相撲大会司会

イベントを通して地域の活性化の協力、人とのつながりの輪を大きくする場として活動しています。

●「聖栄葛飾祭」を実施

令和元年十一月九日(土)、十日(日)に「聖栄葛飾祭」が開催されました。「新時代く食と健康で未来に笑顔を繋ごう」をテーマに、学友会を中心に活動しました。今年初めての企画として、来場者の投票で、「Z〇」の出演団体を決める「フーロスマイルグランプリ」の企画や、荒木学部長による「タイ料理を学ぶSEIJI cooking」としてチャリティー企画に、数量限定でお餅を配布する企画を行い、令和の新時代の幕開けにふさわしい祭となりました。また、葛飾区の後援や農林水産省関東農政局の後援、地元消防署・自衛隊の公的団体からも出展・協力もあり、大盛況に終わることができました。「聖栄葛飾祭」での収益金の一部を、大震災義援金やあしなが育英会などに寄付しています。



seiei cooking

●「教職員との意見交換会」を実施

令和元年十二月九日(月)に「学長をはじめとする教職員と学生代表との意見交換会」が本学内で実施いたしました。この意見交換会は、学生の学修環境や支援などに関する意見や要望を大学が把握し、大学運営にかす取組の一環として行われています。意見交換会では学友会役員が、学生の様々な意見を役員会等で集約した意見を提出しています。当日は、学生代表として学友会役員と学長をはじめとする教職員で活発な意見の交換が行われ有意義な機会となりました。また、学生の意見・要望に対する大学の取り組みについては、学内に公表され、学生生活が充実になるよう図られています。



学長挨拶

●普通救命講習会を実施

令和元年十二月十一日(水)、東京消防庁本田消防署のご協力の下、「普通救命講習会」が本学で実施され、希望した各クラスの代表者や運動部所属学生の三十九名が受講しました。普通救命講習会は、心肺蘇生やAED使用方法、止血方法などの知識と技術を東京消防庁の指導の下に学ぶ講習です。この講習により、様々な活動の中で緊急時の救命技能の向上を図っております。受講修了者には「救命技能認定証」が交付されました。



普通救命講習会



意見交換学生

学生支援センター

(学生支援・就職支援)

●修学支援新制度が始まります
高等教育の修学支援新制度は、文部科学省による大学等の高等教育における「授業料や入学金の減免」と「給付型奨学金」による制度として令和二年四月から始まります。

●普通救命講習会を実施
本学は、文部科学省から高等教育の修学支援新制度の支援対象校として認定され、「授業料・入学金の一部減免と給付型奨学金」により、意欲ある学生のみ皆さんの「学び」を支援してまいります。

在学中の修学支援新制度における申請等は、春頃に学生向けのガイダンスを実施致しますので、希望する際は必ず出席するようにお知らせください。本制度に関しては、学生支援センターまでお問合せください。また、詳細は文部科学省及び日本学生支援機構のホームページをご覧ください。



文部科学省 HP
修学支援新制度
https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/hutankeigen/index.htm



日本学生支援機構 HP
給付型奨学金
<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/kyufu/index.html>

後援会副会長挨拶

後援会副会長 笛木 敦



早春の候、後援会の皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素より後援会活動にご理解を賜り、厚く御礼申し上げます。東京聖栄大学を卒業される皆様、ご卒業おめでとうございます。当大学の皆様は、「食」について深く学んだ事と思えます。私は「食」と言いますと、ある思い出があります。それは、私が幼い頃に食べた「チャーハン」の味です。カウンター席から手際よく料理人が炒めている姿と香ばしい匂いは今でも鮮明に覚えています。それは大変美味しく「また次も食べに行こう!」という気持ちになったのを覚えています。たかがチャーハン一杯ですがその美味しさが心も身体も元気にしてくれました。当たり前のことですが「食」とは人間にとって、欠かすことのできないものであり、多くの力を秘めています。一つの料理で人々を元気にし、希望を与えることができるのが「食」だと私は思います。卒業される皆様は、「食」のスペシャリストとして社会に貢献することを期待致します。

就職活動状況

令和元年度卒業生の就職内定率は、二月十五日現在で九七・六%（昨年同日九七・三%）という状況です。

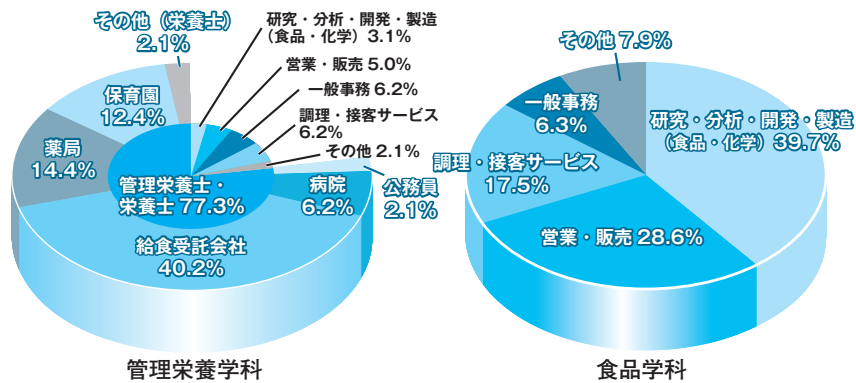
学科別では、管理栄養学科は管理栄養士職を中心に九七・〇% 食品学科は食品企業の研究・技術・製造職や調理職を中心に九八・四%となりました。

学生支援センターでは、就職未内定者への就職支援を継続してまいります。未内定者は諦めずに就職活動を継続してください。

現三年次生の就職活動は、昨年度同様に三月に企業の広報活動が開始となり、採用選考活動は六月に始まり、採用広報解禁前の取り組みとしてインターンシップ実施企業は年々増加傾向にあります。既にインターンシップに参加して企業研究を行い、選考を受けている学生もおります。また、多くの企業が前倒して採用活動が行われていますので、早めの対策や準備が必要になります。

三年次生の就職活動はこれから本格化してまいります。学生支援センターでは学生の就職ニーズと就職先のマッチングを計る為、学生の希望進路実現に向けて関係教職員と連携し就職支援を行います。関係者の皆様のご協力をお願いいたします。

令和元年度卒業予定者 内定先職種別グラフ (二月十五日現在)



2020年度 学年暦

Table of the 2020 academic calendar with dates and events such as '入学式' (Enrollment Ceremony), '前期授業開始' (First semester classes start), and '卒業式' (Graduation Ceremony).

※国民の祝日に伴い変更する場合があります。

4年次生の主な就職内定先

管理栄養学科

- List of job placement destinations for the Management Nutrition department, including (公務員) 相模原市公務員, (病院) 独立行政法人 地域医療機能推進機構東日本地区, (給食受託会社) エームサービス, (薬局) ウエルシア薬局, (保育園等) 株式会社 グローバルキッズ.

(生産管理)

- List of job placement destinations for production management, including イニシオフーズ(株), デリカフーズ(株), (一般企業・その他) (公益社団法人)日本食品衛生協会, (株)ABC Cooking Studio.

食品学科

- List of job placement destinations for the Food Science department, including (研究・分析・開発・製造 (食品・化学)) イセデリカ(株), (営業・販売) アサヒ飲料販売(株), (調理・接客サービス) 株式会社 オールハーツ.